

ミニシタ
あぜみち通信

* * * * *

平成28年8月1日

第188号

編集・発行：(一社)愛知県農業会議

◎ **愛知県農業経営力向上支援会議が開催されました**

7月1日に「県庁西庁舎」において、平成28年度第1回愛知県農業経営力向上支援会議が開催されました。

意欲ある農業者が本格的な農業経営者へと成長し、さらなる経営発展を図ることができるよう、農業経営の法人化を推進するため、開催されたものです。

農業経営力支援事業の一環として、農業経営者を対象とした法人化推進研修会及び個別相談会が尾張(8/19)・西三河(8/10)・東三河(8/31)の3ブロックで実施されます。

◎ **常設審議委員会（7月）の審議状況について**

7月5日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る市町村農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

7月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案1件、5,379㎡、同法5条に基づく転用事案29件、248,728㎡をそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

◎ **愛知県稲作経営者会議の通常総会が開催されました**

7月7日に名古屋市内の「名古屋クラウンホテル」において、愛知県稲作経営者会議の通常総会が行われました。

山中会長は、あいさつの中で「TPP大筋合意を踏まえた対応については、国会審議が先送りとなり、今後の動向を注視する必要がある。稲作経営者会議としては、経営対策の充実を図るなど研鑽に励み、会員が地域から求められる担い手として地域の要請に応え、



【あいさつする山中会長】

勝ち残れる稲作経営を確立できるよう事業に取り組んで行かなければならないと考える。」と述べました。

その後、来賓として田辺東海農政局長、鈴木愛知県農林水産部技監から祝辞をいただきました。

総会では、平成27年度の事業報告・収支決算、平成28年度の事業計画・収支予算、会費の額・徴収方法、現金預託先、規約の一部改正及び役員の選任に係る提出議案は全て承認され、新役員協議の結果、欠員であった副会長には山田博嗣氏(弥富市)が選出されました。

総会終了後、愛知県農業大学校の藤井潔校長を講師に迎え、「愛知の水田作経営者に贈る言葉～これまでの技術職人生を振り返って～」と題する講演が行われました。

◎ 愛知県の平成27年の田畑売買価格等の調査結果が公表されました

本調査は、昭和31年から毎年実施しているもので、昭和25年当時の旧市町村を対象に都市計画法による市街化区域、調整区域の線引きが完了、その線引きが未完了ないし、非指定に区分し、各区域ごとの価格を調査したものです。

次の表のとおり、全体として横ばいないしは下落となっています。このうち、中田については、市街化区域は▲0.5%、市街化調整区域内は農用地区域内が▲0.8%、農用地区域以外が▲2.2%となっています。また、都市計画法の適用を受けていない市町村は農用地区域内が▲2.7%、農用地区域以外が▲4.0%となっています。中畑についてもほぼ同様の傾向となっています。

市町村別の価格など詳しくは、「平成27年愛知県における田畑売買価格等に関する調査結果」をご覧ください。

平成27年農地価格（括弧内は対前年上昇率） 単位:10アール当たり千円

区分	都計法による線引きが完了した市町村			都計法の適用を受けていない市町村	
	市街化区域	市街化調整区域		農用地区域内	農用地区域以外
		農用地区域内	農用地区域以外		
中田	45,906 (-0.5%)	9,189 (-0.8%)	11,094 (-2.2%)	899 (-2.7%)	669 (-4.0%)
中畑	47,682 (-0.6%)	9,401 (-1.3%)	11,167 (-3.1%)	590 (-0.9%)	558 (-8.4%)

◎ 第41回全国稲作経営者現地研究会inふくおかが開催されました

7月11日～12日の2日間、福岡県福岡市の「ホテル日航福岡」において、全国から稲作経営者を始め約330人を集め、「再生可能な稲作経営の安定化に向けて」をテーマとして、全国稲作経営者会議(会長:大越一雄)等の主催による「第41回全国稲作経営者現地研究会」が開催され、本県からは、愛知県稲作経営者会議の山中会長始め会員等14名が参加しました。

研究会は、大越会長の挨拶、小川福岡県知事、百崎農林水産省九州農政局次長の祝辞の後、ふるさと料理人藤清光氏による「食はいのち～足元の宝、ふるさと料理～」と題した講演が行われました。続いて、「日本稲作の展望～TPPの真実を踏まえて」と題して、東京大学大学院教授の鈴木宣弘氏による基調講演が行われ、一般社団法人全国農業会議所の情報提供の後、生産現場からの提言がなされました。

研究会翌日には、福岡県農林業総合試験場の現地視察が行われました。

◎ 愛知県農業法人経営者協会総会が開催されました

7月13日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、来賓に東海農政局の飯田経営・事業支援部長、愛知県農林水産部の今井農業経営課長及び愛知県農業協同組合中央会の井上専務理事を迎え、愛知県農業法人経営者協会平成28年度通常総会が開催されました。

総会では、平成27年度事業報告並びに収支決算、平成28年度事業計画並びに収支予算、会費の額並びに納入方法、役員の変更の4議案の全てが可決承認されました。

また、会長に三浦基彰氏、副会長に市田真新氏、水谷朱美氏が選出されました。

総会終了後、全体研修会として、「アメリカ農業とどう向き合うか」というテーマで、評論家・ノンフィクション作家の関岡英之氏の講演が行われました。

◎ 愛知県農地集積・集約化推進会議が開催されました

7月19日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、農地中間管理事業を中心とした農地の集積・集約化の総合的な推進と地域における推進会議の活動をサポートすることを目的として、平成28年度第1回愛知県農地集積・集約化推進会議(事務局 県農業振興課)が開催されました。

会議には、県農林水産部関係課のほか、農地中間管理機構、JA中央会、経済連、農業会議等が出席し、各地域推進会議の推進体制、目標及び進捗状況の確認等を行いました。

◎ 愛知県農業会議の監事監査を実施しました

7月22日(古田監事)及び7月25日(坂部監事)に一般社団法人愛知県農業会議の監事による平成27年度の事務事業及び会計処理状況の監査が実施されました。

事務局から事務局体制、事業報告、歳入歳出決算等の説明を行い、その後、監査委員により預金通帳、証拠書類、関係帳簿の検査、確認等を行っていただきました。

◎ 愛知県農業委員会事務研究会の総会等が開催されました

7月27日に名古屋市中区の「名古屋銀行協会」において、第57回（平成28年度）愛知県農業委員会事務研究会（鈴木孝昌会長）の総会が開催されました。

平成27年度の事業報告及び歳入歳出決算、平成28年度の事業計画及び歳入歳出予算その他の議案はすべて承認されました。

総会終了後、農業委員会職員等研修会を開催しました。当面の課題となっている改正農業委員会法に基づく新体制への移行を中心テーマとして、農業会議事務局長から概要を説明した後、平成28年4月から新体制に移行している北名古屋市、武豊町、設楽町から事例発表を行いました。県農業振興課からも助言をいただきました。

【事例発表の様子】



左から、設楽町、武豊町、北名古屋市、県農業振興課

◎ 愛知県農林公社の臨時社員総会（清算終了）が開催されました

7月28日に「愛知県東大手庁舎」において、一般社団法人愛知県農林公社の平成28年度臨時社員総会が開催されました。

同公社は、平成28年3月31日に解散し、4月1日に清算を開始し、当初の予定どおり7月末に清算終了とする目途が立ったことから、臨時社員総会が開催されたものであり、清算期間の決算報告が承認されました。

◎ 今後の主な行事予定

- 8月 4日 理事会、常設審議委員会（三の丸庁舎）
- 8月 9日 農業会議豊田加茂地域協議会（豊田市）、西三河地域協議会（岡崎市）
- 8月25日 農業会議知多地域協議会（半田市）
- 8月25日 あいち農業女子交流会
- 8月26日 通常総会、理事会、農業会議会員等研修会（三の丸庁舎）
- 9月 1日 28年度農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈尾張会場〉（稲沢市）
- 9月 6日 常設審議委員会（三の丸庁舎）
- 9月 7日 28年度農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈西三河会場〉（知立市）
- 9月 9日 28年度農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈東三河会場〉（豊川市）